

校長室だより *For Our Children's*



HP

*Smiles*2026

～ 子供たちの笑顔のために～



湖北小学校

第 8 号

5月23日発行

運動会感謝号

文責 加藤理巳

令和8年度の運動会を無事に開催することができました。温かいご声援ありがとうございました。

保護者の皆様

まずは、本日の運動会当日にいたるまで練習期間等、子どもたちの毎日の体操服の準備や汗拭きタオルの用意、そして家庭での温かい励ましなど、多大なご協力をいただきました保護者の皆さまに、心より御礼申し上げます。皆さまの支えがあったからこそ、子どもたちは今日という日を迎えることができました。本当にありがとうございました。今年度の運動会は、本校が大切にしている 2026 年キャッチフレーズ「優しさ優先、習うから学びへ」を、子どもたち自身が随所で体現してくれた素晴らしい運動会となりました。温かいご声援ありがとうございました。

★「優しさ優先」を体現した姿

係活動や応援団で、高学年が低学年を優しくリードする姿はもちろん、学年の団体種目や表現運動でも互いに仲間を励まし合い、優しさあふれている姿が数多く見られました。徒競走やリレー、団体競技などで勝敗にかかわらず、失敗した友達がいても「大丈夫!!」「次があるよ!!」と声を掛け合い、手を差し伸べて励まし合う姿、最後まであきらめず走る仲間を全員で応援する姿も見られました。勝ち負け以上に大切な「仲間への思いやり」を子どもたちは自らの行動で証明してくれました。赤白組の応援団の皆さんもすごがんばっていました。



★「習うから学びへ」の成長

学年の表現運動や徒競走では、先生に言われた通りに動く(習う)だけでなく、「どうすればもっと良くなるか」を自分たちで考え、工夫し、主体的に取り組む(学ぶ)姿も見られ、練習の過程で大きな成長を遂げてくれたと思います。特に5・6年の表現運動はその成果が表れ、当日の演技は見ている人の心に響く感動的な演技でした。ありがとうございました。今年度は紅白対抗リレーも復活いたしましたが、選ばれた選手たちは誇りを持ち、バトンとともに「想い」を繋ぎ、全力で駆け抜けました。そんな子どもたちの姿は、見ている私たちの胸を熱くさせる本当に素敵なものでした。



この日に向けて、教職員も体育主任を中心に、4月から一丸となって計画を練り、子どもたちの可能性を引き出すために奮闘してまいりました。今日、グラウンドで見せてくれた子どもたちの輝く笑顔と一回り大きくなった背中からは、学校と家庭が手を取り合ってきた成果そのものです。運動会という大きな山を乗り越え、子どもたちは一回りも二回りも逞しく成長しました。この経験をこれからの学校生活、学級活動に活かしていけるよう、教職員一同、今後とも全力を尽くしてまいります。



保護者の皆様本日は温かいご声援と、これまでの多大なるご理解・ご協力をいただき、本当にありがとうございました。

令和8年5月23日

湖北小学校 校長 加藤 理巳 (よしみ)